

2024. 9. 30

報道関係者 各位

&lt;配信枚数1枚&gt;

## ■講座のご案内■

**国際言語文化研究所連続講座「〈物語〉を外からひらく研究角度」開催  
「物語」の役割や未来の可能性を探る**

日時：2024年10月4日・11・18・25日 17:00～19:00

会場：立命館大学衣笠キャンパス（Zoomウェビナーあり）

立命館大学国際言語文化研究所は、全4回の連続講座「〈物語〉を外からひらく研究角度」を2024年10月4日より開催いたします。

小説や漫画といった「物語」は、古くから人々を繋ぎ合わせてきました。「物語」は過去から現代にかけ、その役割も変容しており、近年さまざまな分野での研究事例が出てきています。「物語」を紡ぐ表現媒体も声から図像、文字、webなど多様化しながら現在に至ります。

全4回の連続講座では、「物語」を研究する研究者の研究成果発表を中心に、発表を通して、「物語」が過去や現在で担ってきた役割と、未来における可能性を、皆様と考える機会となれば幸いです。

日 時：2024年10月4・11・18・25日（毎週金曜日）17:00～19:00 ※16:45 開場

場 所：対面（立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム  
オンライン）ZOOMウェビナー

参加方法：①会場での対面参加（会場：定員50人）※申込不要、当日先着順でご案内します。

②オンライン参加の方は、センターのホームページ（イベント）に掲載されたリンクよりご参加ください。<https://www.ritsumei.ac.jp/research/iilcs/event/symposium.html/>

対 象：申込不要。どなたでも無料でご参加いただけます。

主 催：立命館大学国際言語文化研究所

開催スケジュール：

10月4日 第1回 再編：語り直される〈物語〉のこえとえともじ

発表1：西岡亜紀（立命館大学）「物語を動かすさまざまな表現～こえとえともじ」

発表2：川島隆（京都大学）「変容するハイジ」

コメンテーター：佐藤宗子（千葉大学名誉教授、アジア児童文学日本センター会長）

10月11日 第2回 ナラティヴ（語り）と学び：教育と〈物語〉、教師・学習者の〈物語〉

発表1：北出慶子（立命館大学）「ナラティヴと言語教師の成長」

発表2：竹森元彦（香川大学）「ナラティヴと教育」

コメンテーター：サトウタツヤ（立命館大学）

10月18日 第3回 視点と共感：認知言語学から見る〈物語〉と〈マンガ〉

発表1：岡本雅史（立命館大学）「〈物語〉としての対話—オープンコミュニケーション  
と共感チャネルの観点から」

発表2：出原健一（滋賀大学）「共同注意からマンガと言語を考える」

コメンテーター：甲田直美（東北大学）

10月25日 第4回 沈黙と暴力：物語ること、語らないこと、語れないこと

問題提起：ウェルズ恵子（立命館大学）「物語に語られること、語られないこと」

講演：合田正人（明治大学）「物語における沈黙と、それをめぐる若干の哲学的考察」

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

**●内容・取材についてのお問い合わせ先**

立命館大学国際言語文化研究所事務局 TEL. 075-465-8164 Email. [genbun@st.ritsumei.ac.jp](mailto:genbun@st.ritsumei.ac.jp)